



# 江別市立豊幌小学校 学 校 だ よ り

令和 7 年 度 号 外  
全国学力・学習状況調査 結果  
発行：令和 7 年 9 月 2 6 日  
発 行 者：山 本 武

江別市豊幌 4 1 9 番地  
0 1 1 - 3 8 3 - 4 4 4 0  
豊幌小ホームページ→



令和 7 年 4 月 1 7 日(木)に、全国の小学校 6 年生と中学校 3 年生を対象に行われた全国学力・学習状況調査について、本校の結果と今後の取組をお知らせします。

この調査は、児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、今後の学習指導に役立てることを目的として行われています。本校においても、結果を分析し、課題等の解決に向け、授業改善や補充的な指導に取り組んでいきます。

## 全国学力・学習状況調査（6 年生）結果報告

### 1 結果概要

|                    | 国 語              | 算 数              | 理 科              |
|--------------------|------------------|------------------|------------------|
| 本校の平均              | 全国平均を大きく上回っている   | 全国平均を大きく上回っている   | 全国平均を大きく上回っている   |
| 全道平均〔正答率（正答数/問題数）〕 | 65.4% (9.2/14 問) | 55.2% (8.8/16 問) | 56.3% (9.6/17 問) |
| 全国平均〔正答率（正答数/問題数）〕 | 66.8% (9.4/14 問) | 58.0% (9.3/16 問) | 57.1% (9.7/17 問) |

### 2 学習指導要領の領域ごとの結果

| 国 語                |                     |           |
|--------------------|---------------------|-----------|
| 学習指導要領の内容          |                     | 全国平均との比較  |
| 知識及び技能             | (1) 言葉の特徴や使い方に関する事項 | 大きく下回っている |
|                    | (2) 情報の扱い方に関する事項    | 大きく上回っている |
|                    | (3) 我が国の言語文化に関する事項  | 大きく上回っている |
| 思考力<br>判断力<br>表現力等 | A 話すこと・聞くこと         | 大きく上回っている |
|                    | B 書くこと              | ほぼ同等である   |
|                    | C 読むこと              | 大きく上回っている |

| 算 数       |           |
|-----------|-----------|
| 学習指導要領の内容 | 全国平均との比較  |
| 数と計算      | 大きく上回っている |
| 図形        | 大きく上回っている |
| 測定        | やや上回っている  |
| 変化と関係     | ほぼ同等である   |
| データの活用    | 大きく上回っている |

| 理 科       |                |           |
|-----------|----------------|-----------|
| 学習指導要領の内容 |                | 全国平均との比較  |
| A 区分      | 「エネルギー」を柱とする領域 | やや上回っている  |
|           | 「粒子」を柱とする領域    | やや上回っている  |
| B 区分      | 「生命」を柱とする領域    | 大きく上回っている |
|           | 「地球」を柱とする領域    | 大きく上回っている |

### 3 評価の観点ごとの結果

|          | 国 語            | 算 数            | 理 科            |
|----------|----------------|----------------|----------------|
| 知識・技能    | 全国平均を大きく上回っている | 全国平均を大きく上回っている | 全国平均を大きく上回っている |
| 思考・判断・表現 | 全国平均を大きく上回っている | 全国平均をやや下回っている  | 全国平均を大きく上回っている |

## 4 国語の結果と課題及び指導改善のポイント

- 全体の平均正答率が、全道・全国を大きく上回っていました。
- 観点別の正答率でも、「知識・技能」、「思考・判断・表現」の両方の観点で、全道・全国を大きく上回っていました。
- 全ての設問で、無回答率が0%でした。
- 「漢字を書く問題」の正答率が、昨年度に引き続き全道・全国を大きく下回っており、課題が見られました。
- 「文章の構成を捉える問題」の正答率が全道・全国を大きく下回っており、課題が見られました。



R7 全国学力・学習状況調査 国語調査問題・解説資料

### ◇全国と比較して正答率の低かった問題

#### 国語 2の一

書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落を作ったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えることができるかどうかをみる問題

【ちらし】

**手ぬぐい**

手ぬぐいには、いろいろなよさがあります。  
そのよさは、どのようなものでしょう。

**よさ1 もよう**

さまざまなよさがあり、すきなよさを選ぶことができます。おくり物としてもぴったりです。

季節を感じるもよう

手ぬぐいには、植物や風景をもとにしたものがあります。季節に合わせて手ぬぐいを選ぶことができます。

しゅみやすきなものに合わせたもよう

スポーツや音楽などに関係するもようの手ぬぐいもあります。相手のよさのみに合わせて、もようを選び、おくることができます。

**よさ2 使い方**

手などをふくだけではなく、身にかけたり、物を包んだりすることもできます。

**身に着ける使い方**

あつい日に、水でぬらして首にまくと、すずしく感じます。また、外で作業をするときに頭にかぶると、あせをきゅうしゅうし、両手が空くので仕事がしやすくなります。

**物を包む使い方**

手ぬぐいは、いろいろな物を包むことができます。

このように、手ぬぐいには、いろいろなよさがあります。みなさんもぜひ使ってみてください。

山田さんは文章の構成を工夫して【ちらし】を書いています。山田さんが文章の構成をどのように工夫しているかの説明として適切なものを選びなさい。

- 読んでほしい順序を明確にして、時間の流れに沿って書いている。
- 伝えたいことの中心を明確にして、内容のまとまりごとに分けて書いている。**
- 文章の筋道が整うように、原因と結果を明らかにして書いている。
- 読み手の目的に応じて読めるように、使い方の手順に沿って書いている。

|      |      |      |      |     |
|------|------|------|------|-----|
| 1と解答 | 2と解答 | 3と解答 | 4と解答 | (%) |
| 27.5 | 54.5 | 9.1  | 9.1  |     |

**【1と回答している児童】**は、山田さんが、読んでほしい順序を明確にして、時間の流れに沿って書いていると捉えており、伝えたいことの中心を明確にして、内容のまとまりごとに分けて書いていると捉えることができていません。

#### 国語 2の四イ

学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことができるかどうかをみる問題

【ちらし】

**手ぬぐい**

手ぬぐいには、いろいろなよさがあります。  
そのよさは、どのようなものでしょう。

**よさ1 もよう**

さまざまなよさがあり、すきなよさを選ぶことができます。おくり物としてもぴったりです。

季節を感じるもよう

手ぬぐいには、植物や風景をもとにしたものがあります。季節に合わせて手ぬぐいを選ぶことができます。

しゅみやすきなものに合わせたもよう

スポーツや音楽などに関係するもようの手ぬぐいもあります。相手のよさのみに合わせて、もようを選び、おくることができます。

**よさ2 使い方**

手などをふくだけではなく、身にかけたり、物を包んだりすることもできます。

**身に着ける使い方**

あつい日に、水でぬらして首にまくと、すずしく感じます。また、外で作業をするときに頭にかぶると、あせをきゅうしゅうし、両手が空くので仕事がしやすくなります。

**物を包む使い方**

手ぬぐいは、いろいろな物を包むことができます。

このように、手ぬぐいには、いろいろなよさがあります。みなさんもぜひ使ってみてください。

山田さんは、【ちらし】を読み返し、習っている漢字がひらがなになっていた部分を漢字に直すことにしました。次のア、イ部を漢字で書きましょう。

**あつ**い日に、水でぬらして首にまくと、すずしく感じます。

|         |           |     |
|---------|-----------|-----|
| 「暑い」と解答 | 「暑い」以外の解答 | (%) |
| 45.5    | 54.5      |     |

**【暑い】**は、第3学年で習う漢字です。新出漢字として習った当時は書くことができた漢字でも、時間の経過とともに記憶があいまいになり、正しく書くことができなくなっています。

### 改善に向けて

- 正答率の低かった問題を、6年生全員で改めて解き直し、正しい解答を理解させます。
- 特に正答率の低かった「漢字を正しく書くこと」については、漢字の成り立ちや意味などを丁寧に説明・指導することを、全学年で徹底します。また、一度覚えた知識が剥落していることから、繰り返し学習する機会（漢字50問テストを活用した『トヨホロ漢字検定』の実施等）を計画します。同様に、正答率の低かった「文章の構成を捉えること」については、授業での課題として意図的・計画的に学校全体で繰り返し学習する機会を設定すると共に、ドリルの添削指導（4年生以上・『トヨホロ国語マスター』）を通して理解を深めさせます。

## 5 算数の結果と課題及び指導改善のポイント

- 全体の平均正答率が、全道・全国を大きく上回っていました。
- 観点別の正答率では、「知識・技能」が全道・全国を大きく上回っていましたが、「思考・判断・表現」は全道をやや上回っているものの、**全国をやや下回っていました。**
- 全ての設問で、無回答率が0%でした。
- 「自らの考えの根拠を言葉や式を用いて記述する問題」の正答率が低く、課題が見られました。
- 「記述式」の解答形式の問題では、正解の要件を満たす解答を作成することができていない児童の様子が明らかになりました。

R7 全国学力・学習状況調査 算数調査問題・解説資料



### ◇全国と比較して正答率の低かった問題

#### 算数 4の(4)

「10%増量」の意味を解釈し、「増量後の量」が「増量前の量」の何倍になっているかを表すことができるかどうかをみる問題

5) わかちさんたちは、図3のような五角形アイウエオの面積の求め方を考えています。

わかちさんたちは、五角形アイウエオの面積の求め方が異なるように、図3の五角形アイウエオを、2つの図形に分けようとしています。

わかちさんたちは、五角形アイウエオを2つの図形に分けて面積を求めようとしています。わかちさんたちは、五角形アイウエオを2つの図形に分けて面積を求めようとしています。

わかちさんたちは、五角形アイウエオを2つの図形に分けて面積を求めようとしています。わかちさんたちは、五角形アイウエオを2つの図形に分けて面積を求めようとしています。

五角形アイウエオを2つの図形に分けて面積を求めるとき、あなたなら下の1、2のどちらの直線をひいて求めますか。また、2つの図形の面積がそれぞれ何  $\text{cm}^2$  になるか、それらの求め方を、式や言葉を使って書きましょう。

1 直線イオ 2 直線ウオ

【正答の条件】  
番号1を選び、「三角形アイオの面積を求める式や言葉」と「台形イウエオの面積を求める式や言葉」の両方が書かれているか、番号2を選び、「ひし形アイウオの面積を求める式や言葉」と「三角形ウエオの面積を求める式や言葉」の両方が書かれていること。

【誤答の特徴】として、どちらかの番号を選択し、五角形アイウエオを2つの図形に分けることはできていましたが、2つに分けられたうちの一方の図形の面積の求め方しか記述されていない解答が多く見られました。

#### 算数 1の(2)

目的に応じて適切なグラフを選択して出荷量の増減を判断し、その理由を言葉や数を用いて記述できるかどうかをみる問題

2) あいりさんは、自分たちが住んでいる都道府県Aのブロッコリーの出荷量が、増えたかどうかを調べています。調べていると、2013年と2023年について、次のグラフ2とグラフ3を見つめました。

グラフ2とグラフ3を見つめたけれど、どちらか一つのグラフを見れば、増減がわかるブロッコリーの出荷量が、増えたかどうかを、下のアとイから選んで、その記号を選んで、言葉や数を使って書きましょう。そのとき、どちらのグラフのどこに着目したのかがわかるようにしよう。

ア 2023年は2013年より増えた。  
イ 2023年は2013年より減った。

2023年の都道府県Aのブロッコリーの出荷量が2013年より増えたかどうかを、下のア、イから選んで、記号を書きなさい。また、その記号を選んだわけを、言葉や数を使って書きましょう。その時どちらのグラフのどこに着目したのかがわかるようにしよう。

【正答の条件】  
記号アを選び、「グラフ3に着目したことを表す言葉」と「2023年の出荷量が2013年より多いことを表す言葉や数」が書かれていること。

【誤答の特徴】として、「2023年は2013年より増えた」と判断でき、グラフ3に着目したことも記述できているが、2023年の出荷量が2013年より多いことは記述できていない解答や、「出荷量の割合に着目し、2023年は2013年より減ったと判断している解答」が多く見られました。

### 改善に向けて

- 正答率の低かった問題を、6年生全員で改めて解き直し、正しい解答を理解させます。正答率の低かった記述式の問題については、正解となるためには何が書かれていなければならないのかを明確にした上で改めて解答させ、理解を深めさせます。
- 学校全体で、日頃の授業において、事象を数量や図形およびそれらの関係などに着目してとらえ、論理的・統一的・発展的に考える課題を設定するとともに、自らの考えを論理的にまとめ言語化する学習活動に繰り返し取り組ませます。
- ドリルの添削指導（4年生以上・『トヨホロ算数マスター』）を通して、学習内容の定着を図ります。





## 7 児童質問調査の結果及び指導改善のポイント

### ◇肯定的な回答が全国平均を上回っていた項目

|                                                              |
|--------------------------------------------------------------|
| 国語の勉強が好き                                                     |
| 算数の勉強が好き                                                     |
| 理科の勉強が好き                                                     |
| 国語の授業の内容はよくわかる                                               |
| 算数の授業の内容はよくわかる                                               |
| 理科の授業の内容はよくわかる                                               |
| 授業での学習内容が理解できており、学習に前向きに取り組んでいることがわかります。                     |
| PC・タブレットで文書を作成できる                                            |
| インターネットで情報を収集できる                                             |
| PC・タブレットでプレゼンテーションを作成できる                                     |
| PC・タブレットで文書を作成できる                                            |
| PC・タブレットなどのICT機器の操作レベルが高く、学習にも適切に活用できていることがわかります。            |
| 人が困っているときは進んで助けている                                           |
| いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う                                     |
| 人の役に立つ人間になりたい                                                |
| 地域や社会をよくするために何かしてみたい                                         |
| 向社会性（他者の福利を向上させる利他的な行動や、協力的な傾向）が高く、思いやりのある児童が多いことがわかります。     |
| 先生はあなたのよいところを認めてくれている                                        |
| 先生は授業やテストの間違えたところ、理解していないところについて、わかるまで教えてくれる                 |
| 児童と先生方との信頼関係が構築され、心理的安全性が保障された環境の下で、学校生活を送ることができていることがわかります。 |

### ◇肯定的な回答が全国平均を下回っていた項目

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 学校の勉強以外に、普段（月～金曜日）、1日2時間以上勉強する                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
| 土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日2時間以上勉強する<br>学習塾や家庭教師の先生に勉強を教わっている                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
| 学校から帰宅してから家庭で取り組む宿題や家庭学習、学習塾での勉強などが、全道・全国と比べて少ないことがわかります。特に、土曜日や日曜日、休日などは、全国的には学習時間が増える傾向にありますが、本校では、平日よりも減る傾向があります。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
| 自分にはよいところがある                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
| 困りごとや不安があるときに、先生や学校にいる大人にいつでも相談できる                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
| 例年に比べて、「自分にはよいところがある」と感じている児童が少なく、自己肯定感の低い児童が多いことがわかりました。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
| <div>改善に向けて</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 江陽中学校区全体で取り組む平日の家庭学習（学年×10分+10分）を目標とし、全児童を対象として改めて調査を行い、実施を数値で把握します。その上で、家庭とも連携を図りながら、支援を行っていきます。</li> <li>○ 家庭学習の取り組み方をまとめた「手引き」において、休日の家庭学習の取り組み方の記載を見直し、平日（月～金曜日）に学習した内容を週末（土曜日と日曜日）に復習することが習慣化するように支援を行ってきます。</li> <li>○ 家庭での学習時間が短いことの要因のひとつとして、ゲームやSNSの利用時間の長さが挙げられることから、情報モラル教育の充実を図ると共に、家庭とも連携しながら改善に向け働きかけていきます。</li> <li>○ 児童の自己肯定感の向上に向け、全教職員で児童ひとりひとりの良さや頑張り、活躍などを見取り、肯定的に評価し、頑張っている様子や良さを言葉にして伝える取組を行います。</li> <li>○ 行事等と関連して、児童相互で互いの良さや頑張りを評価し伝え合う活動を計画させ、取り組ませます（児童会書記局による企画・実施）。</li> </ul> |

# NRT 標準学力検査（2～5年生）結果報告

## 1 結果概要

|              | 国 語           | 算 数         |
|--------------|---------------|-------------|
| 本校（2～5年生）の平均 | 全国平均をやや下回っている | 全国平均を下回っている |

## 2 学年ごとの結果

|     | 国 語            | 算 数            |
|-----|----------------|----------------|
| 2年生 | 全国平均をやや下回っている  | 全国平均を下回っている    |
| 3年生 | 全国平均を上回っている    | 全国平均を上回っている    |
| 4年生 | 全国平均と同様        | 全国平均を大きく下回っている |
| 5年生 | 全国平均を大きく下回っている | 全国平均を大きく下回っている |

## 3 国語の結果

|     | 領域別（全国比）  |           |           | 観点別（全国比）  |           |
|-----|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
|     | 話すこと・聞くこと | 書くこと      | 読むこと      | 知識・技能     | 思考・判断・表現  |
| 2年生 | 同様        | 大きく下回っている | 下回っている    | やや下回っている  | 下回っている    |
| 3年生 | 上回っている    | やや上回っている  | 大きく上回っている | やや上回っている  | 上回っている    |
| 4年生 | 大きく上回っている | やや上回っている  | 大きく下回っている | 上回っている    | やや下回っている  |
| 5年生 | 大きく下回っている | 大きく下回っている | 大きく下回っている | 大きく下回っている | 大きく下回っている |

## 4 算数の結果

|     | 領域別（全国比）  |           |          |           | 観点別（全国比）  |           |
|-----|-----------|-----------|----------|-----------|-----------|-----------|
|     | 数と計算      | 図形        | 変化と関係    | 測定・データの活用 | 知識・技能     | 思考・判断・表現  |
| 2年生 | 下回っている    | 下回っている    | ・        | 大きく下回っている | 大きく下回っている | 下回っている    |
| 3年生 | やや上回っている  | 上回っている    | ・        | 上回っている    | 上回っている    | 上回っている    |
| 4年生 | 大きく下回っている | 大きく下回っている | ・        | 大きく下回っている | 大きく下回っている | 大きく下回っている |
| 5年生 | やや下回っている  | 大きく下回っている | やや下回っている | 大きく下回っている | やや下回っている  | 大きく下回っている |

## 5 偏差値（全国平均を50と見たときの本校児童の得点率）の昨年度との比較

|     | 国語 2024年→2025年            | 算数 2024年→2025年            |
|-----|---------------------------|---------------------------|
| 3年生 | 2年生時点より偏差値が上昇した。（学力が向上した） | 2年生時点より偏差値が上昇した。（学力が向上した） |
| 4年生 | 3年生時点より偏差値が上昇した。（学力が向上した） | 3年生時点より偏差値が上昇した。（学力が向上した） |
| 5年生 | 4年生時点より偏差値が上昇した。（学力が向上した） | 4年生時点より偏差値が上昇した。（学力が向上した） |

全国学力・学習状況調査は1～5年生の学習内容、NRT 標準学力検査は前年度の学習内容の理解・定着の状況を調査しています。

